

新盛里山耕流塾

NEWS もりの里 1月号

2010年が始まりました。今年も新しいことに取り組みながら、「エコでおしゃれな21世紀の里山暮らし」を進めていきますので新盛里山耕流塾をよろしくお願いいたします。今月は、昔から里山と関わりのある「炭」と新しい里山の資源となる「バイオガス」の活用を学ぶ2つの新しい講座がスタートしました。

ご意見・ご感想はこちらへ
足助支所地域振興担当 多和田、山田
TEL: (0565)-62-0601
E-mail: asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

1/10&31 にバイオガス活用講座、1/16&30 に炭の活用講座、1/17 に旬裁食、1/17 にもりの里 農業塾、1/25 に暮らしのデザイン講座が開催されました！

里山デザイン

新たな
自然エネルギーの活用！！ の巻

1月10日は、「バイオガス活用講座」の開耕式を行いました。



開耕式の後、バイオガスエネルギーについての講義を行いました。バイオガス発生装置の構造やバイオガス発生のメカニズムについて学びました。

午後からは、3箇所のバイオガス発生装置の設置候補地の調査を行いました。

ほっ、とひと息 ~写真集~



バイオガス発生装置第1候補地



バイオガス発生装置第2候補地



バイオガス発生装置第3候補地



バイオガス発生装置は
ここに設置します

山遊びコース

里山の資源を活用した
新たな講座の開催！！ の巻

1月16日は、「炭の活用講座」の開耕式を行いました。



開耕式の後、炭焼き用の原木を詰め込むために、炭窯の中に入りました。炭窯の中は、暖かく、快適な作業でした。原木と原木の間が多いときれいな炭ができないため、慎重に作業を行いました。

原木の他にも竹、木の実、みかん、里芋なども入れました。原木の詰め込み作業が終わり、点火したところ、勢い良く火が燃え上がりました。どんな形の炭になるのか、窯出しが楽しみです。



旬裁食

冬の里山の仕事 味噌づくり の巻

1月17日の「旬裁食」は、味噌づくりが行われました。

午前、大豆を大きな鍋で煮ました。

指先で潰れるくらいまで煮た後、杵で豆を潰し、潰した豆を丸め、容器の中に空気を抜くように強く投げ込み、カビ防止の塩を全体に薄く振りました。



その後、表面をラップフィルムで覆い、容器の蓋をして冷暗所に保管します。

昼食は、味噌汁と朴葉味噌を試食しました。

今年の秋以降には、おいしい味噌汁をいただくことができそうです。



ほっ、とひと息 ~写真集~



受講生の感想

味噌づくりは初めての経験だった。祖母が味噌を作っていたが、米麹だけだったので豆麹や麦麹を使う方法も初めて見た。今度は、家で味噌づくりに挑戦したい。(親)

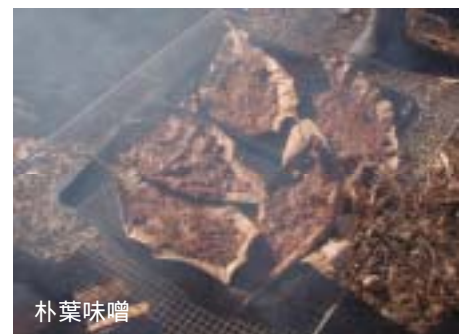
薪割りをがんばった。チェーンソーの扱いが難しかった。チェーンソーで斜めに切ってしまうと、次の斧で割る作業が難しくなることが良くわかった。(親)

大豆を潰すのが大変だった。(子)

氷が太陽に当たってキラキラしていてきれいだった。(子)

味噌汁がおいしかった。(子)

試食した旬の食材



暮らしのデザイン講座



1月25日に21世紀の里山暮らしの拠点づくり講座を開催しました。

今回は、基本計画づくりに向けて、模型などを使い、前回出された意見などの再確認を行いました。

また、木材資材の地元調達の可能性についても検討しました。

もりの里☆市民農園

もりの里 市民農園 畑 今年のまとめ の巻

1月17日は、もりの里 市民農園・畑の講座を行いました。

今回は、今年度最後の講座となるため、今年度の反省と来年度に向けての土づくりについて学びました。最も多かった反省点は、収穫時期になかなか来れなくて、せっかくできた作物が収穫できなかったことでした。



昼食は、もりの里 市民農園で収穫した野菜や受講者が持ち寄った食材を調理しました。

午後は、畑に残っている野菜を収穫しましたが、大根が全て凍っていました。

ほっ、とひと息 ~写真集~



山遊びコース

待望の窯出し！！ 炭の出来ばえは？ の巻

1月30日は、原木の伐採と炭の窯出しを行いました。



午前、チェーンソーの取扱い講習を行いました。チェーンソーを持つのが初めての受講生もいましたが、実際に丸太を切ることができました。

その後、炭焼き窯に入れる原木を切りに山へ入り、2本の伐採を体験しました。

昼食は、炭焼き窯で焼いた炭で鯛と秋刀魚と猪肉を焼いて試食しました。

午後は、前回の講座で火入れを行った炭を窯から出しました。予想していたよりもきれいな炭ができていました。



里山デザイン

設置場所と作業班決定！！ いよいよ作業へ！！の巻

1月31日は、バイオガス発生装置の設計を行いました。

午前は、バイオガス発生装置の設計の細かい打合せと資材の調達や製作の分担を決めました。

バイオガス発生装置の設置場所は、バーベキューハウス前に決まり、柱材などは近くの山から切り出すことに決まりました。



午後は、柱材を切り出す山に入り、使用できる木があるか調査を行いました。

その後、山遊びコースで作った遊び場で、今後の進め方を確認しました。

バイオガス発生装置は、かなり大がかりなものになりそうです。



菅田和集落の冬景色

もりの里 市民農園 畑



もりの里 市民農園 田



もりの里 市民農園 田



旬裁食会場



旬裁食会場



そばづくりコース会場

受講生の感想

山の暮らしをしてみたい。自分の出したごみなどがエネルギーになるとは素晴らしい。今からワクワクしている。

小規模なバイオガス発生装置を作るというところに惹かれた。自分でエネルギーを作ることができるのが素晴らしい。

久々におもしろいことができると思った。

新盛里山耕流塾のいろいろな講座を受講するうちに、自給自足の暮らしをしたいと思った。ますます新盛地区に来る機会が増えた。

大工をしているが、建物を建てるのに木を切るところから始めるのは初体験なので、すごく楽しみになってきた。

建物を建てることを自分たちでできるようになりたいので、材木やコンクリートのことをしっかり学びたい。

自分で作るということを体験してみたい。

お知らせ

3月14日(日)10時より足助交流館にて、都市と農山村交流居住シンポジウム『農山村へのシフト 今・未来』

生きるに値し、住むに値する地域とは何か」を開催します。

新盛里山耕流塾も活動報告やパネル展示を行います。これから地域で活動したいとお考えの方や、これから交流活動を行いたいと思っている方は、ぜひ、お越しください。